

## 海外旅行にはご用心！？

看護科支部 太田栄子

海外旅行にトラブルはつき物です。私も数々のトラブルに遭遇しましたが、中でも最もトラブルの多かった学会先のデンマークでの体験をご紹介します。

某旅行会社のツアーで行きました。ツアーといいながらも大阪発のグループに添乗員はついて来ず、関空のロビーでチケットを渡されたのみでした。パリシャルル・ド・ゴール空港に到着、デンマーク行きに乗り換えるため指示された場所に行くと「爆発物がありそうなので閉鎖」との表示。読めるわけではなく困っていたところに、たまたまフランス在住の日本人が来て、どうすればよいのかを教えてくださいました。デンマーク行きの機内の窓から外を眺めていると、私のものとそっくりなスーツケースが他の飛行機に積み込まれていました。「もしかしてあのスーツケース私の？ベルトまで一緒だし」と一瞬不安はよぎったものの、ありえないと呑気に構えておりました。デンマークに無事到着しましたが、私の荷物は出てきません、「あのスーツケースやっぱり私のだったの〜〜〜!!」。手荷物サービスデスクで説明が求められますが、ここでも頼りなさそうな現地係員をおいて添乗員はさっさとホテルに行ってしまいました。つたない英語で説明をした後、歯磨きセットとビッグサイズの T シャツが入った袋をもらいホテルに到着、今度はベッドがありません!! 3人部屋のはずなのにベッドは2つ、また〜ありえない!! と思いながらロビーへ、当然添乗員はおらずもう一つの最新のホテルに行っていました。自力で交渉するしかなく何とかお願いをすると、幅60Cm足らずのソファのようなもので簡易ベッドを準備してくれました。紙製のディスプレイ下着を提供して頂きビッグ T シャツを着ていざ簡易ベッドへ、針金が格子状で10Cm 間隔にありました。裏返しても同じ、毛布を2枚敷いてみても変わらず、結局床に毛布を敷いて寝ました。翌朝話しても「このホテルの中で一番見晴らしが良い部屋です」と何も変わりませんでした。その後シャワーは壊れる等々・・・本当にいろいろありました。最後の日ベッドの上に謝罪カードと本（デンマークの宝）がありました。今更こんなものくれてもね・・・でも無事に帰ってくることもできて（スーツケースは3日目に手元に届きました）忘れがたい思い出となりました。

ここで得た私の教訓、海外旅行ではたとえツアーでも自分でサバイバルできること!!

